

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第3区分

【発行日】平成27年1月29日(2015.1.29)

【公表番号】特表2014-533448(P2014-533448A)

【公表日】平成26年12月11日(2014.12.11)

【年通号数】公開・登録公報2014-068

【出願番号】特願2014-530795(P2014-530795)

【国際特許分類】

H 04 W 72/04 (2009.01)

H 04 W 92/18 (2009.01)

H 04 J 11/00 (2006.01)

【F I】

H 04 W 72/04 1 3 6

H 04 W 72/04 1 3 3

H 04 W 92/18

H 04 J 11/00 Z

【手続補正書】

【提出日】平成26年11月11日(2014.11.11)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

ワイヤレスデバイスを動作させる方法であって、

ローカル基地局までの経路損失または距離がしきい値よりも大きい場合、前記ローカル基地局までの前記経路損失または前記距離のうちの1つに基づいて、複数のピア発見リソースグルーピングのうちの第1のピア発見リソースグルーピングを使用することと、前記ローカル基地局までの前記経路損失または前記距離が前記しきい値よりも小さい場合、前記ローカル基地局までの前記経路損失または前記距離のうちの1つに基づいて、複数のピア発見リソースグルーピングのうちの第2のピア発見リソースグルーピングを使用することと、前記第1のピア発見リソースグルーピングは、第1の複数の同一リソースサブセットを有し、前記第2のピア発見リソースグルーピングは、第2の複数の同一リソースサブセットを有し、前記第1の複数の同一リソースサブセットの各々は、前記第2の複数の同一リソースサブセットの各々とは異なる期間または異なる数のサブキャリアのうちの少なくとも1つに広がっている。

ここにおいて、前記第1のピア発見リソースグルーピングまたは前記第2のピア発見リソースグルーピングは、隣接基地局のリソースと重なる。

前記第1のピア発見リソースグルーピングまたは前記第2のピア発見リソースグルーピングのうちの前記決定された方の前記同一リソースサブセットのうちの1つのサブセット上でピア発見信号を送信することと

を備える方法。

【請求項2】

前記第1の複数の同一リソースサブセットの各々は、前記第2の複数の同一リソースサブセットの各々とは異なる期間および異なる数のサブキャリアに広がっている、請求項1に記載の方法。

【請求項3】

前記第1の複数の同一リソースサブセットの各々は、第1の期間および第1の数のサブキャリアに広がっており、前記第2の複数の同一リソースサブセットの各々は、第2の期間および第2の数のサブキャリアに広がっており、前記第1の期間は、前記第2の期間よりも短く、前記第1の数のサブキャリアは、前記第2の数のサブキャリアよりも多い、請求項2に記載の方法。

【請求項4】

前記第1の複数の同一リソースサブセットの各々は、前記第2の複数の同一リソースサブセットの各々とは異なる数のサブキャリアに広がっており、前記第1の複数の同一リソースサブセットの各々は、第1の数のサブキャリアに広がっており、前記第2の複数の同一リソースサブセットの各々は、第2の数のサブキャリアに広がっており、前記第1の数のサブキャリアは、前記第2の数のサブキャリアよりも多い、請求項1に記載の方法。

【請求項5】

前記第1または第2のピア発見リソースグルーピングを使用することを前記決定することは、

第1のしきい値よりも大きいサービング基地局までの経路損失または距離を前記ワイヤレスデバイスが有するときに、前記第1の複数の同一リソースサブセットにおけるリソースを使用することを決定することと、

第2のしきい値よりも小さい前記サービング基地局までの経路損失または距離を前記ワイヤレスデバイスが有するときに、前記第2の複数の同一リソースサブセットにおけるリソースを使用することを決定することと

を備える、請求項4に記載の方法。

【請求項6】

前記第1または第2のピア発見リソースグルーピングを使用することを前記決定することは、

第1のしきい値よりも小さい近隣基地局までの経路損失または距離を前記ワイヤレスデバイスが有するときに、前記第1の複数の同一リソースサブセットにおけるリソースを使用することを決定することと、

第2のしきい値よりも大きい前記近隣基地局までの経路損失または距離を前記ワイヤレスデバイスが有するときに、前記第2の複数の同一リソースサブセットにおけるリソースを使用することを決定することと

を備える、請求項4に記載の方法。

【請求項7】

ワイヤレス通信のための装置であって、

ローカル基地局までの経路損失または距離がしきい値よりも大きい場合、前記ローカル基地局までの前記経路損失または前記距離のうちの1つに基づいて、複数のピア発見リソースグルーピングのうちの第1のピア発見リソースグルーピングを使用することを決定するための手段と、前記ローカル基地局までの前記経路損失または前記距離が前記しきい値よりも小さい場合、前記ローカル基地局までの前記経路損失または前記距離のうちの1つに基づいて、複数のピア発見リソースグルーピングのうちの第2のピア発見リソースグルーピングを使用することを決定するための手段と、前記第1のピア発見リソースグルーピングは、第1の複数の同一リソースサブセットを有し、前記第2のピア発見リソースグルーピングは、第2の複数の同一リソースサブセットを有し、前記第1の複数の同一リソースサブセットの各々は、前記第2の複数の同一リソースサブセットの各々とは異なる期間または異なる数のサブキャリアのうちの少なくとも1つに広がっている、

ここにおいて、前記第1のピア発見リソースグルーピングまたは前記第2のピア発見リソースグルーピングは、隣接基地局のリソースと重なる、

前記第1のピア発見リソースグルーピングまたは前記第2のピア発見リソースグルーピングのうちの前記決定された方の前記同一リソースサブセットのうちの1つのサブセット上でピア発見信号を送信するための手段と

を備える装置。

【請求項 8】

前記第1の複数の同一リソースサブセットの各々は、前記第2の複数の同一リソースサブセットの各々とは異なる期間および異なる数のサブキャリアに広がっている、請求項7に記載の装置。

【請求項 9】

前記第1の複数の同一リソースサブセットの各々は、第1の期間および第1の数のサブキャリアに広がっており、前記第2の複数の同一リソースサブセットの各々は、第2の期間および第2の数のサブキャリアに広がっており、前記第1の期間は、前記第2の期間よりも短く、前記第1の数のサブキャリアは、前記第2の数のサブキャリアよりも多い、請求項8に記載の装置。

【請求項 10】

前記第1の複数の同一リソースサブセットの各々は、前記第2の複数の同一リソースサブセットの各々とは異なる数のサブキャリアに広がっており、前記第1の複数の同一リソースサブセットの各々は、第1の数のサブキャリアに広がっており、前記第2の複数の同一リソースサブセットの各々は、第2の数のサブキャリアに広がっており、前記第1の数のサブキャリアは、前記第2の数のサブキャリアよりも多い、請求項7に記載の装置。

【請求項 11】

前記第1または第2のピア発見リソースグルーピングを使用することを決定するための前記手段は、

第1のしきい値よりも大きいサービング基地局までの経路損失または距離を前記装置が有するときに、前記第1の複数の同一リソースサブセットにおけるリソースを使用することを決定し、

第2のしきい値よりも小さい前記サービング基地局までの経路損失または距離を前記装置が有するときに、前記第2の複数の同一リソースサブセットにおけるリソースを使用することを決定する

ように構成される、請求項10に記載の装置。

【請求項 12】

前記第1または第2のピア発見リソースグルーピングを使用することを決定するための前記手段は、

第1のしきい値よりも小さい近隣基地局までの経路損失または距離を前記装置が有するときに、前記第1の複数の同一リソースサブセットにおけるリソースを使用することを決定し、

第2のしきい値よりも大きい前記近隣基地局までの経路損失または距離を前記装置が有するときに、前記第2の複数の同一リソースサブセットにおけるリソースを使用することを決定する

ように構成される、請求項10に記載の装置。

【請求項 13】

ワイヤレス通信のための装置であって、

メモリと、

前記メモリに結合された少なくとも1つのプロセッサと、

ローカル基地局までの経路損失または距離がしきい値よりも大きい場合、前記ローカル基地局までの前記経路損失または前記距離のうちの1つに基づいて、複数のピア発見リソースグルーピングのうちの第1のピア発見リソースグルーピングを使用することを決定し、前記ローカル基地局までの前記経路損失または前記距離が前記しきい値よりも小さい場合、前記ローカル基地局までの前記経路損失または前記距離のうちの1つに基づいて、複数のピア発見リソースグルーピングのうちの第2のピア発見リソースグルーピングを使用することを決定し、前記第1のピア発見リソースグルーピングは、第1の複数の同一リソースサブセットを有し、前記第2のピア発見リソースグルーピングは、第2の複数の同一リソースサブセットを有し、前記第1の複数の同一リソースサブセットの各々は、前記第2の複数の同一リソースサブセットの各々とは異なる期間または異なる数のサブキャリ

アのうちの少なくとも 1 つに広がっている、

ここにおいて、前記第 1 のピア発見リソースグルーピングまたは前記第 2 のピア発見リソースグルーピングは、隣接基地局のリソースと重なる、

前記第 1 のピア発見リソースグルーピングまたは前記第 2 のピア発見リソースグルーピングのうちの前記決定された方の前記同一リソースサブセットのうちの 1 つのサブセット上でピア発見信号を送信する

ように構成された処理システムと、
を備える装置。

【請求項 1 4】

前記第 1 の複数の同一リソースサブセットの各々は、前記第 2 の複数の同一リソースサブセットの各々とは異なる期間および異なる数のサブキャリアに広がっている、請求項 1_3 に記載の装置。

【請求項 1 5】

前記第 1 の複数の同一リソースサブセットの各々は、第 1 の期間および第 1 の数のサブキャリアに広がっており、前記第 2 の複数の同一リソースサブセットの各々は、第 2 の期間および第 2 の数のサブキャリアに広がっており、前記第 1 の期間は、前記第 2 の期間よりも短く、前記第 1 の数のサブキャリアは、前記第 2 の数のサブキャリアよりも多い、請求項 1_4 に記載の装置。

【請求項 1 6】

前記第 1 の複数の同一リソースサブセットの各々は、前記第 2 の複数の同一リソースサブセットの各々とは異なる数のサブキャリアに広がっており、前記第 1 の複数の同一リソースサブセットの各々は、第 1 の数のサブキャリアに広がっており、前記第 2 の複数の同一リソースサブセットの各々は、第 2 の数のサブキャリアに広がっており、前記第 1 の数のサブキャリアは、前記第 2 の数のサブキャリアよりも多い、請求項 1_3 に記載の装置。

【請求項 1 7】

前記第 1 または第 2 のピア発見リソースグルーピングを使用することを決定するために、前記処理システムは、

第 1 のしきい値よりも大きいサービス基地局までの経路損失または距離を前記装置が有するときに、前記第 1 の複数の同一リソースサブセットにおけるリソースを使用することを決定し、

第 2 のしきい値よりも小さい前記サービス基地局までの経路損失または距離を前記装置が有するときに、前記第 2 の複数の同一リソースサブセットにおけるリソースを使用することを決定する

ように構成される、請求項 1_6 に記載の装置。

【請求項 1 8】

前記第 1 または第 2 のピア発見リソースグルーピングを使用することを決定するために、前記処理システムは、

第 1 のしきい値よりも小さい近隣基地局までの経路損失または距離を前記装置が有するときに、前記第 1 の複数の同一リソースサブセットにおけるリソースを使用することを決定し、

第 2 のしきい値よりも大きい前記近隣基地局までの経路損失または距離を前記装置が有するときに、前記第 2 の複数の同一リソースサブセットにおけるリソースを使用することを決定する

ように構成される、請求項 1_6 に記載の装置。

【請求項 1 9】

ワイヤレスデバイスにおけるコンピュータプログラム製品であって、

ローカル基地局までの経路損失または距離がしきい値よりも大きい場合、前記ローカル基地局までの前記経路損失または前記距離のうちの 1 つに基づいて、複数のピア発見リソースグルーピングのうちの第 1 のピア発見リソースグルーピングを使用することを決定することと、前記ローカル基地局までの前記経路損失または前記距離が前記しきい値より

も小さい場合、前記ローカル基地局までの前記経路損失または前記距離のうちの1つに基づいて、複数のピア発見リソースグルーピングのうちの第2のピア発見リソースグルーピングを使用することを決定することと、前記第1のピア発見リソースグルーピングは、第1の複数の同一リソースサブセットを有し、前記第2のピア発見リソースグルーピングは、第2の複数の同一リソースサブセットを有し、前記第1の複数の同一リソースサブセットの各々は、前記第2の複数の同一リソースサブセットの各々とは異なる期間または異なる数のサブキャリアのうちの少なくとも1つに広がっている。

ここにおいて、前記第1のピア発見リソースグルーピングまたは前記第2のピア発見リソースグルーピングは、隣接基地局のリソースと重なる。

前記第1のピア発見リソースグルーピングまたは前記第2のピア発見リソースグルーピングのうちの前記決定された方の前記同一リソースサブセットのうちの1つのサブセット上でピア発見信号を送信することと

を行うためのコード記憶した非一時的コンピュータ可読媒体、
を備えるコンピュータプログラム製品。

【請求項20】

前記第1の複数の同一リソースサブセットの各々は、前記第2の複数の同一リソースサブセットの各々とは異なる期間および異なる数のサブキャリアに広がっている、請求項19に記載のコンピュータプログラム製品。

【請求項21】

前記第1の複数の同一リソースサブセットの各々は、第1の期間および第1の数のサブキャリアに広がっており、前記第2の複数の同一リソースサブセットの各々は、第2の期間および第2の数のサブキャリアに広がっており、前記第1の期間は、前記第2の期間よりも短く、前記第1の数のサブキャリアは、前記第2の数のサブキャリアよりも多い、請求項20に記載のコンピュータプログラム製品。

【請求項22】

前記第1の複数の同一リソースサブセットの各々は、前記第2の複数の同一リソースサブセットの各々とは異なる数のサブキャリアに広がっており、前記第1の複数の同一リソースサブセットの各々は、第1の数のサブキャリアに広がっており、前記第2の複数の同一リソースサブセットの各々は、第2の数のサブキャリアに広がっており、前記第1の数のサブキャリアは、前記第2の数のサブキャリアよりも多い、請求項19に記載のコンピュータプログラム製品。

【請求項23】

前記第1または第2のピア発見リソースグルーピングを使用することを前記決定することは、

第1のしきい値よりも大きいサービス基地局までの経路損失または距離を前記ワイヤレスデバイスが有するときに、前記第1の複数の同一リソースサブセットにおけるリソースを使用することを決定することと、

第2のしきい値よりも小さい前記サービス基地局までの経路損失または距離を前記ワイヤレスデバイスが有するときに、前記第2の複数の同一リソースサブセットにおけるリソースを使用することを決定することと

を備える、請求項22に記載のコンピュータプログラム製品。

【請求項24】

前記第1または第2のピア発見リソースグルーピングを使用することを前記決定することは、

第1のしきい値よりも小さい近隣基地局までの経路損失または距離を前記ワイヤレスデバイスが有するときに、前記第1の複数の同一リソースサブセットにおけるリソースを使用することを決定することと、

第2のしきい値よりも大きい前記近隣基地局までの経路損失または距離を前記ワイヤレスデバイスが有するときに、前記第2の複数の同一リソースサブセットにおけるリソースを使用することを決定することと

を備える、請求項2_2に記載のコンピュータプログラム製品。